

「ほめる」使用頻度と「ほめられる」好感度(Ⅲ)

～30-40代の同性・異性間の差異及び10-20代との比較～

林 宇 萍

1、はじめに

「ほめる」「ほめられる」言語表現に関しては、様々な教育書、育児書などにとりあげられてきたテーマではあるが、日本語教育の分野でも近年盛んに研究されるようになってきている。主な先行研究としては、次のようなものがある。

川口・蒲谷・坂本(1996)は、待遇表現としての「ほめ」を検討しており、目上に対する「ほめ」の不適切性について指摘している。また、児玉(1993)は、ほめ言葉にみる日米の社会文化的価値の比較を外見のトピックを中心に行なっており、金(2005)は、会話に見られる「ほめ」の対象に関する日韓対照研究を行なっている。さらに山路(2005)は、日本語の「ほめ」と「けなし」を「相手を評価する発話」と位置づけ考察している。

林・二宮(2004)は、女子大学生対象のアンケート調査により、「ほめる」言語表現の使用頻度と「ほめられる」場合にうれしく感じる言語表現の好感度を心理言語学的な観点から検討している。ただし、女子大学生50名のみが対象であったため、男女対等の比較ができなかった。林・林(2005)は、上記アンケート調査の対象を10-20代の男女各100名ずつに拡大し、男女対等の比較を行った。「ほめる」「ほめられる」言語表現の同性間及び異性間の差異に焦点化し、検討を加えた。なお、林(2002)は、外見ホメ、内面ホメのようにホメの分類方法を提案している。

山路(2006)は、日本語の「ほめ」について考察し、「ほめ」を攻撃的に作用させる要因を分析している。聞き手の優越性や自賛意識にあからさまに言及する場合などである。

本稿では林・二宮(2004)林・林(2005)の調査研究の流れを受ける形で、30-40代の日本人を対象に、アンケート調査を行って得られた新たな知見を報告する。

2、調査の目的

- 1) 30-40代ではほめる言語表現の使用傾向として、どのような表現が多く用いられるか。
- 2) 30-40代で相手が同性か異性かによって、ほめる言語表現使用の頻度(ホメ頻度)にどのような差異があるか。
- 3) 30-40代ではめられる言語表現として、うれしいと感じる度合い(ホメラレ好感度)がどの程度であるか。またその好感度の男女の差異はどうか。
- 4) 30-40代のほめ頻度と好感度を調べ、働き盛りの世代の価値観を明らかにする。
- 5) 30-40代の人気度の高い調査項目は、10-20代と比べてどのような差異があるか。

3、アンケート調査

調査対象者：日本人の30代、40代の男女各100名。

対象出身地：〔男性〕山口県（74）広島県（12）福岡県（4）熊本（3）愛媛県、岡山県（各2）
長崎県、北海道（各1）〔女性〕山口県（54）広島県（17）福岡県（11）佐賀県（7）熊本
県（3）岡山県、大阪府（各2）静岡県、埼玉県、大分県、長崎県（各1）

調査実施日：2005年4月-10月

調査の内容：別添資料1参照（調査項目は10-20代を対象としたものと同じ）

4、調査結果

男女各100名のアンケート調査の結果、ほめ頻度と好感度の集計を次の表1と表2に示す。

表1、表2は各項目の得点を合計した小計の高い順に並べた。

小計は調査項目の人気度を示している。各項目の左側の数字は、人気度の順序を表す。

4-1、男性30-40代のアンケート結果（100名）

次の表1の①は男性が男性をほめるホメ頻度である、②は男性が男性にほめられた場合のうれしさを示し、「男性好感度Ⅰ」とする、③は男性が女性をほめる頻度である、④は男性が女性にほめられた場合のうれしさを示し、「男性好感度Ⅱ」とする。

表1：ほめる・ほめられる言語表現アンケートの結果（男性、30-40代、n=100名）

	①男→男 ホメ頻度	②男性 好感度Ⅰ	③男→女 ホメ頻度	④男性 好感度Ⅱ	小 計
1 頼りになる	53	55	13	65	186
2 優しい	43	34	61	42	180
3 誠実	39	37	17	33	126
4 明るい	27	24	54	20	125
5 思いやりがある	18	32	36	33	119
6 しっかりしている	32	30	24	25	111
7 話しやすい	23	29	28	28	108
8 真面目	39	30	15	9	93
9 楽しい	20	21	18	30	89
10 努力家	34	30	9	16	89
11 落ち着いた	28	18	10	21	77
12 元気	27	20	10	19	76
13 親切	21	14	24	17	75
14 包容力がある	14	20	3	28	65
15 センスがいい	12	12	26	12	62
16 几帳面	15	17	17	8	57
17 笑顔が素敵	2	7	39	7	55
18 おだやか	11	14	10	7	42
19 ほがらか	2	6	24	8	40

20 素直	4	5	15	7	31
21 正直	8	11	3	7	29
22 おしゃれ	4	1	14	5	24
23 かわいい	1	0	18	2	21
24 目がきれい	0	5	13	1	19
25 スタイルがいい	0	3	4	0	7

表1に示したように、調査項目の範囲で男性において「ほめる、ほめられる」人気度が高かったのは、第一位「頼りになる」186、第二位「優しい」180、第三位「誠実」126、第四位「明るい」125、第五位「思いやりがある」119の順であった。

同性間には、①男性が男性をほめるホメ頻度において上位項目では、「頼りになる」53、「優しい」43、「誠実」と「真面目」39、「努力家」34であった。②男性好感度Ⅰの上位項目では「頼りになる」55、「誠実」37、「優しい」34、「思いやりがある」32、「しっかりしている」、「真面目」及び「努力家」が各30であった。

異性間には、③男性が女性をほめるホメ頻度において上位項目では、「優しい」61、「明るい」54、「笑顔が素敵」39、「思いやりがある」36、「話しやすい」28であった。④男性好感度Ⅱの上位項目では、「頼りになる」65、「優しい」42、「誠実」及び「思いやりがある」が各33、「楽しい」30であった。

4-2、女性30-40代のアンケート結果（100名）

次の表2の①は女性が女性をほめる頻度である、②は女性が女性にほめられた場合のうれしさを示し、「女性好感度Ⅰ」とする、③は女性が男性をほめるホメ頻度である、④は女性が男性にほめられた場合のうれしさを示し、「女性好感度Ⅱ」とする。

表2：ほめる・ほられる言語表現のアンケートの結果（女性、30-40代、n=100名）

	①女→女 ホメ頻度	②女性 好感度Ⅰ	③女→男 ホメ頻度	④女性 好感度Ⅱ	小 計
1 優しい	37	35	48	48	168
2 話しやすい	31	55	29	48	163
3 楽しい	30	35	45	39	149
4 頼りになる	35	26	72	13	146
5 明るい	45	36	17	45	143
6 センスがいい	35	40	12	24	111
7 思いやりがある	16	31	29	33	109
8 笑顔が素敵	17	31	8	42	98
9 しっかりしている	30	21	30	16	97
10 誠実	11	21	39	13	84
11 おしゃれ	21	12	3	5	84
12 元気	33	20	15	15	83

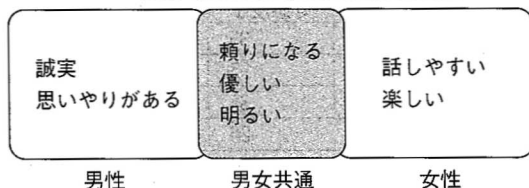
13 包容力がある	2	12	42	9	65
14 落ち着いた	13	17	21	12	63
15 親切	12	14	14	10	50
16 努力家	10	13	18	8	49
17 かわいい	14	11	1	18	47
18 真面目	15	6	18	7	46
19 素直	6	15	6	19	46
20 ほがらか	9	11	6	17	43
21 おだやか	9	13	15	6	43
22 几帳面	11	5	13	5	34
23 スタイルがいい	4	8	0	9	22
24 正直	5	5	5	3	18
25 目がきれい	2	4	2	9	17

表2に示したように、女性において人気度が高かった項目では、第一位「優しい」168、第二位「話しやすい」163、第三位「楽しい」149、第四位「頼りになる」146、第五位「明るい」143の順であった。

同性間では、①女性が女性をほめるホメ頻度において上位項目では、「明るい」45、「優しい」37、「頼りになる」及び「センスがいい」が各35、「元気」33であった。②女性好感度Ⅰの上位項目では「話しやすい」55、「センスがいい」40、「明るい」36、「優しい」及び「楽しい」が各35であった。

異性間では、③女性が男性をほめるホメ頻度において上位項目では、「頼りになる」72、「優しい」48、「楽しい」45、「包容力がある」42、「誠実」39であった。④女性好感度Ⅱの上位項目では、「優しい」及び「話しやすい」が各48、「明るい」45、「笑顔が素敵」42、「楽しい」39であった。

図1：人気度が高い項目の男女間の差異



以上図1に示したように、男性と女性共に人気度が高いのが「頼りになる」「優しい」「明るい」であった。男性の側に人気度が高いのは「誠実」「思いやりがある」であり、女性の側に人気度が高いのは「話しやすい」「楽しい」であった。

5、調査結果分析

5-1：男性の場合の上位項目

男性のアンケートの調査結果、ほめるホメ頻度と好感度の上位項目は以下図2及び図3に示した通りであった。

図2は、前掲の表1の①男性が男性をほめるホメ頻度、②男性が男性にほめられた場合にうれしい「男性好感度Ⅰ」のデータを基に作成した。

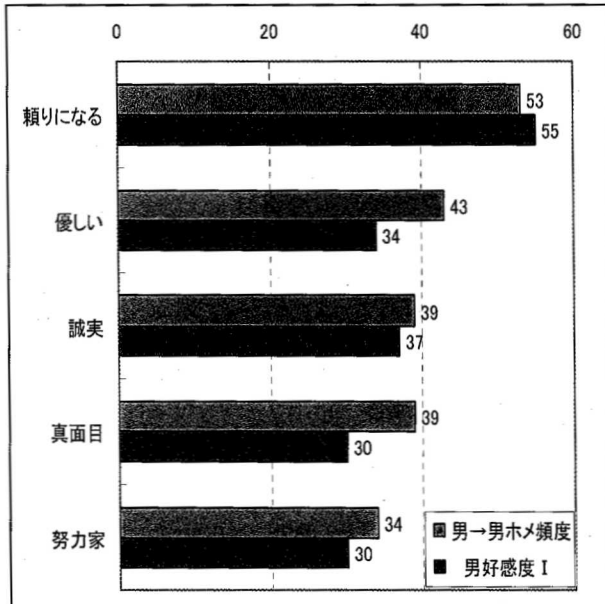


図2：30-40代男性の男性同輩へのホメ頻度とほめられてうれしい男性好感度Ⅰの上位項目

図2に示した通り、男性が男性に対してのホメ頻度の上位項目においては、「頼りになる」「優しい」「誠実」「真面目」「努力家」であった。それらの項目は男性好感度Ⅰにおいても得点が高い項目であった。「頼りになる」以外の4項目はすべてホメ頻度より男性好感度Ⅰの方が低かった。「優しい」と「真面目」では、いずれも男性好感度Ⅰの得点はホメ頻度より9ポイントの差異があった。

次の図3では、女性の立場において、異性からのホメ頻度とそれに対してホメラレ好感度を比較するために、表1の③男性が女性をほめるホメ頻度及び表2の④女性が男性にほめられた場合にうれしい「女性好感度Ⅱ」のデータを基に作成した。

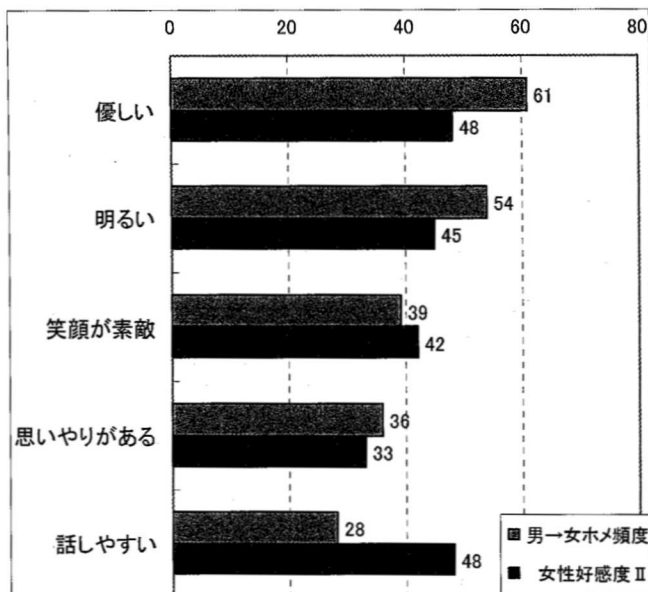


図3：30-40代男性が女性同輩に対して「ほめる」ホメ頻度と「ほめられてうれしい」女性の側の好感度の上位項目

図3に示した通り、男性が女性を「ほめる」ホメ頻度の上位項目においては、「優しい」「明るい」「笑顔が素敵」「思いやりがある」「話しやすい」であった。「優しい」「明るい」「思いやりがある」においてホメ頻度の得点が女性好感度Ⅱより高かった。

また「優しい」は男性の側からのホメ頻度61に対して、女性の側の好感度得点は48しかない。逆に、「話しやすい」では、男性の側からのホメ頻度28に対して女性の側の好感度得点が48であり、20ポイントの顕著な差異が見られた。

5-2：女性の場合の上位項目

女性のアンケートの調査結果、ほめるホメ頻度と好感度の上位項目は次の図4及び図5に示す通りであった。

図4は、前掲の表2の①女性が女性をほめるホメ頻度と②女性が女性にほめられた場合のうれしい「女性好感度Ⅰ」のデータを基に作成した。

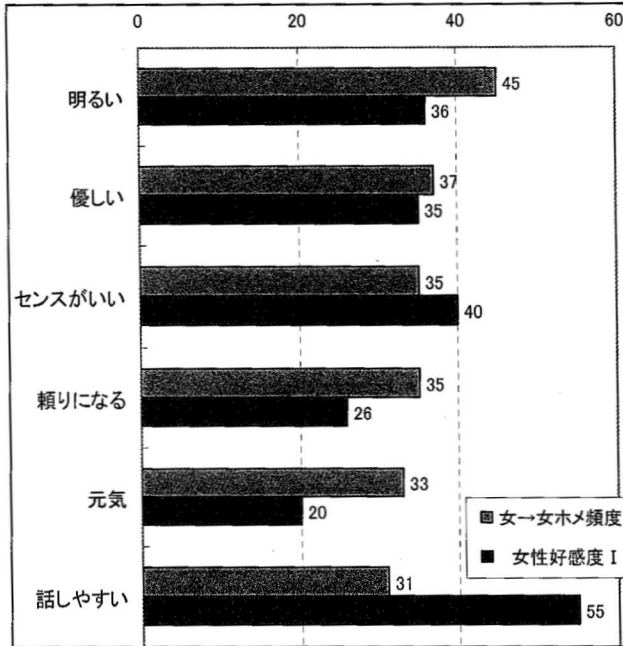


図4：30-40代女性が女性同輩に対して「ほめる」ホメ頻度と「ほめられてうれしい」好感度の上位項目

図4に示した通り、女性が女性に対するホメ頻度の上位項目は「明るい」「優しい」「センスがいい」「頼りになる」「元気」「話しやすい」であった。「明るい」「優しい」「頼りになる」「元気」においてはいずれも女性好感度Iよりホメ頻度の得点が高かった。逆に「センスがいい」「話しやすい」においては、ホメ頻度より好感度Iのほうが得点が高かった。

特に、「元気」はホメ頻度33に対して女性好感度Iが20ポイントしかなく、その差異が13ポイントであった。逆に「話しやすい」ではホメ頻度31に対して女性好感度Iの得点は55であり、24ポイントという顕著な差異が見られた。前項の図3及び図4から、女性の30-40代は、男性からも女性からも「話しやすい」と評価されてうれしいことを示しており、同世代の女性の「話しやすい」ことに対する価値観の高さを表していると言える。

次の図5では、男性の立場において、異性からのホメ頻度とそれに対するホメラレ好感度を比較するために、表2の③女性が男性をほめるホメ頻度及び表1の④男性が女性にほめられた場合のうれしい「男性好感度II」のデータを基に作成した。

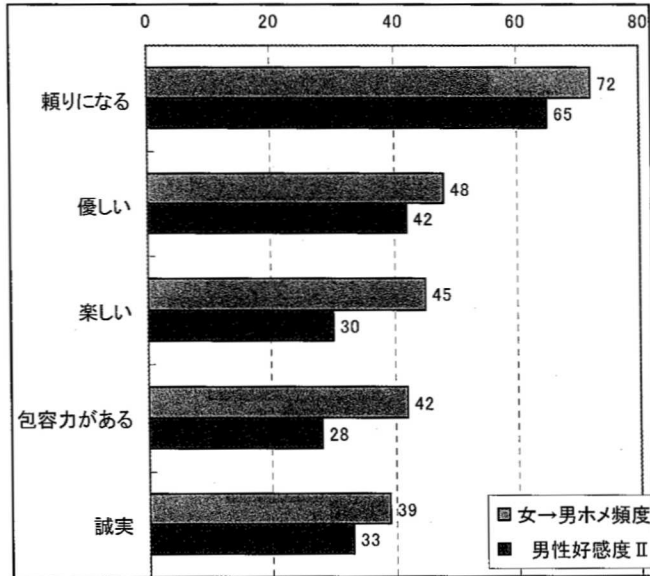


図5：30-40代女性が男性同輩に対して「ほめる」ホメ頻度と「ほめられてうれしい」好感度の上位項目

図5に示した通り、女性が男性をほめるホメ頻度の上位項目は、「頼りになる」「優しい」「楽しい」「包容力がある」「誠実」であった。

以上の5項目はいずれも男性好感度Ⅱに対して、ホメ頻度の得点が高かった。特に「楽しい」では15ポイント、「包容力がある」では14ポイントと、それぞれホメ頻度が男性好感度Ⅱより高く、顕著な差異が見られた。

6、30-40代の人気度の上位項目と10-20代との比較

次の表3及び表4は、今回のアンケート調査結果の30-40代のデータと、林・林（2005）のアンケート調査結果の10-20代のデータを比較するために作成した。

表3：ほめる・ほめられるの言語表現（男性使用人気度の上位項目、30-40代と10-20代の比較）

30-40代男性	①男→男 ホメ頻度	②男性 好感度Ⅰ	③男→女 ホメ頻度	④男性 好感度Ⅱ	小計
1 頼りになる	53	55	13	65	186
2 優しい	43	34	61	42	180
3 誠実	39	37	17	33	126
4 明るい	27	24	54	20	125
5 思いやりがある	18	32	36	33	119

10-20代男性	①男→男 ホメ頻度	②男性 好感度Ⅰ	③男→女 ホメ頻度	④男性 好感度Ⅱ	小 計
1 優しい	55	47	66	61	229
2 明るい	54	45	59	37	195
3 楽しい	55	44	43	45	187
4 話しやすい	39	30	33	30	132
5 元気	37	33	31	23	124

表3に示したように、30-40代の男性において人気度が高いのは「頼りになる」「優しい」「誠実」「明るい」「思いやりがある」であった。「優しい」の項目は10-20代の人気度において第1位であり、その得点も30-40代に比べて49ポイントと大きな差異が認められる点特徴的である。

「頼りになる」と「思いやりがある」は10-20代では第6位と第8位であって、人気上位項目には入っていない。また「誠実」は10-20代の人気度下位項目になっている。

図6：30-40代と10-20代間が男性の人気度上位項目の差異

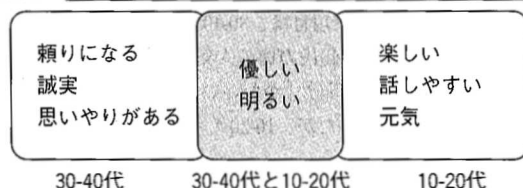


図6に示したように男性の人気度上位項目は、30-40代及び10-20代のどちらも「優しい」と「明るい」が共通であった。30-40代側の人気度上位項目は、「頼りになる」「誠実」「思いやりがある」で、10-20代側の人気度上位項目は「楽しい」「話しやすい」「元気」であった。

表4：ほめる・ほめられるの言語表現（女性使用人気度の上位項目、30-40代と10-20代の比較）

30-40代女性	①女→女 ホメ頻度	②女性 好感度Ⅰ	③女→男 ホメ頻度	④女性 好感度Ⅱ	小 計
優しい	37	35	48	48	168
話しやすい	31	55	29	48	163
楽しい	30	35	45	39	149
頼りになる	35	26	72	13	146
明るい	45	36	17	45	143
10-20代女性	①女→女 ホメ頻度	②女性 好感度Ⅰ	③女→男 ホメ頻度	④女性 好感度Ⅱ	小 計
優しい	64	49	75	57	245
楽しい	42	40	58	41	181
話しやすい	35	42	43	47	165
明るい	41	39	25	44	149
かわいい	64	39	6	32	141

表4に示したように、30-40代の女性において人気度が高い項目は「優しい」「話しやすい」「楽しい」「頼りになる」「明るい」であった。「優しい」の項目は10-20代の得点が245であったのに対して、30-40代の得点は168で、その差は77ポイントと顕著であった。「話しやすい」は10-20代と30-40代いずれもホメ頻度より好感度のほうが得点が高かった。女性は「話しやすい」と言われて嬉しいのに、実際には「話しやすい」とほめている頻度が少ないという傾向を示している。

図7：30-40代と10-20代間が女性の人気度上位項目の差異



図7に示したように女性の人気度上位項目は、30-40代と10-20代ともに「優しい」「話しやすい」「明るい」「楽しい」であった。30-40代の側の人気度上位項目は「頼りになる」という内面ホメで、10-20代の側の人気度上位項目は「かわいい」という外見ホメであった。「頼りになる」は30-40代では第4位の人気度であったが、10-20代の人気上位5項目には入っておらず、第6位であった。

つまり、人気の言語表現では、図6と図7を比較すると女性より男性のほうが世代間の差異が大きく、価値観の差が開いていると言える。

6、考察

河合(1995)は「一般に今まで、女らしさと考えられてきた、優しい、弱い、あるいは愛嬌がよいなどということも、よく考えてみると女性のものとはかぎらない」と述べているが、本調査においても「優しい」の人気度が女性では第1位で、男性では第2位であった。河合(1995)は「最近では、弱い男や優しすぎる男などがざらにいる。男と女の差は、従来に思われていたほど大きくないことは、だんだんと明らかになってきたが、さりとて男女はまったく同じとは言いがたい」としている。本調査結果も「頼りになる」「優しい」「明るい」が30-40代の人気度が高い項目として男女共通であることがわかった。相違点は、男性の側に「誠実」「思いやりがある」が挙げられ、女性の側に「話しやすい」「楽しい」が挙げられている点である。「思いやりがある」も「優しい」の言い換えられた表現であり、類義語に当たるとと思われる。林・林(2005)は、「優しい」の意味内容について検討を加えている。

「ほめる」言語表現は、コミュニケーション能力の中でも、人間関係能力を高めるうえで、重要な役割を果たしていると考えられる。ただし、ただほめればいいというものでもなく、山路(2006)が指摘しているように「聞き手が評価の対象とされたくないと思っているトピックに言及すること」が、攻撃的作用を持つ場合もある。本調査では、「スタイルがいい」が男女

ともに不人気項目になっている点が、山路の指摘に該当していると思われる。

三浦(2005)は、団塊ジュニア階層の意識調査を行っているが、自分を上流と意識している男性は、「性格が明るく、人に好き嫌いがあまりなく、人づきあいがよく、気配りができて、実行力があり、依存心が弱い」と思っているようである。団塊ジュニア世代は、ちょうど1971年から1974年に生まれた世代で、2005年時点で31歳から34歳となり、本調査の「明るい」「思いやりがある」「頼りになる」といった人気項目に符合する結果である。「組織のリーダー的な男らしい男性」つまりは他者への依存心が弱い「頼りになる」男性が上流意識を持った男性となるようである。三浦(2005)は、「団塊ジュニアの男性には従来のジェンダー意識が強く残っており、それに縛られている」としている。一方、女性は男性と逆で、上流意識の女性ほど、「従来の女らしさ、ジェンダー意識を払拭しており、やや男性的で、リーダー的な性格を持っている」としている。本調査での「頼りになる」が女性の側でも第4位の人気度を示している点と符合していると言えるであろう。仕事を持ち、働きざかりの30-40代の男女ともに「頼りになる」に高い価値観を持っていることがわかる。

7、今後の課題

本調査研究では、30-40代の働き盛りの年齢層を対象とした調査を行ない、10-20代の調査結果と比較することができた。50代以上の年齢層や海外の隣国(特に東アジアの中国、韓国など)においても調査し、より広い範囲で「ほめる・ほめられる」言語表現の差異を検討し、価値観の差異を明らかにすることが今後の課題である。

また、河合(1995)は「部下に対して、ほめた方がいいのか、叱った方がいいのか」という問題をとりあげ、「ほめるとつげ上がる、叱るとシュンとする」というジレンマを示した上で「ほめる」グループ、「叱る」グループ、「ほめも叱りもしない」グループと三群に分けて行った進歩の上昇率をみる実験を紹介している。結果は、「ほめるグループは進歩の上昇率が高く、叱るグループを抜いてしまう。(中略)何も言われないグループは前二者に比べると上昇率は一番よくない」というわけであるが、ほめてばかりいると良いと結論するのは性急すぎるようである。この実験には、ほめたり叱ったり、というグループは含まれていなく、「適切にほめ、適切に叱る」のが一番良いということになろうと河合は予測している。

本調査は、あくまで同年代での「ほめる」「ほめられる」に関する調査であったので、今後は上司と部下、教師と生徒など上下関係や待遇関係を含む人間同士の調査を実施する必要があると思われる。

また、言われてうれしくない言葉(「暗い」「話しにくい」「キモい」など)の調査研究も必要であろう。

【謝辞】本研究の発表にあつては、アンケートにご協力頂いた方々及び山口大学人文学部林伸一教授の終始のご指導に心から感謝を申し上げます。

【参考文献】

- 林伸一 (2002) 『『ほめる・ほめられる』教育—ほめる対象、方向、範囲、内容、動機、効果などの分類試案—』『教育学研究紀要』第48巻第二部、中国四国教育学会
- 林宇萍・林伸一 (2005) 『『ほめる』使用頻度と『ほめられる』好感度(II)～10代・20代の同性・異性間の差異～』『山口国文』第28号、42-54、山口大学人文学部国語国文学会
- 林伸一・二宮喜代子 (2004) 『『ほめる』使用頻度と『ほめられる』好感度～女子学生のアンケート調査にみる心理言語』『山口国文』第27号、88-96、山口大学人文学部国語国文学会
- 三浦展 (2005) 『下流社会・新たな階層集団の出現』光文社
- 千石保 (1982) 『日本のサラリーマン・国際比較でみる』日本放送出版協会
- 河合隼雄 (1995) 『働きざかりの心理』新潮社
- 山路美保子 (2006) 「日本語の『ほめ』についての一考察～『ほめ』を攻撃的に作用させる要因の分析～」『日本語教育』130号、日本語教育学会
- 児玉安恵(1993) 「ほめ言葉にみる日米の社会文化的価値 外見のトピックを中心に」『言語文化と日本語教育』6、お茶の水女子大学
- 金庚芬 (2005) 「会話に見られる『ほめ』の対象に関する日韓対照研究」『日本語教育』124号、日本語教育学会
- 山路奈保子 (2005) 「<相手を評価する発話>についての一考察～日本語の『ほめ』と『けなし』をめぐる～』『比較社会文化研究』第17号、九州大学比較社会文化学府
- (リン・ウピン)

別添資料 1

日本語表現アンケート

- 1、あなたは、同性の同年輩の人を直接ほめるときに次のどの表現を使いますか。五つ選んで、その記号を○で囲んでください。いつもあなたが使う表現が次の語群にない場合には、その他の欄にあなたがよく使う表現を書き込んでください。

a、明るい b、元気 c、楽しい d、ほがらか e、優しい
 f、話しやすい g、おだやかな h、落ち着いている i、思いやりがある
 j、包容力がある k、親切 l、真面目(まじめ) m、誠実
 n、素直 o、正直 p、几帳面(きちょうめん) q、努力家
 r、しっかりしている s、頼りになる(頼りがいがある) t、かわいい
 u、笑顔が素敵(いい) v、目がきれい w、スタイルがいい x、おしゃれ
 y、センスがいい z、その他 _____

- 2、あなたが、同性の同年輩の人から直接ほめられたときにどのような表現がうれしいですか。うれしいと思う表現を五つ書いてください。上記の語群にある場合には、その記号を書いてください。上記の語群にない場合には、自由に書いてください。

イ、 _____ ニ、 _____
 ロ、 _____ ホ、 _____
 ハ、 _____

- 3、あなたが、異性の同年輩の人から直接ほめられたときに一番のどの表現を使いますか。五つ選んで、その記号を()の中に入れてください。いつもあなたが使う表現が1番の語群にない場合には、その他の欄にあなたがよく使う表現を書き込んでください。

() () () () () その他 _____

- 4、あなたが、異性の同年輩の人から直接ほめられたときにどのような表現がうれしいですか。うれしいと思う表現を五つ書いてください。上記の語群にある場合には、その記号を書いてください。上記の語群にない場合には、自由に書いてください。

イ、 _____ ニ、 _____
 ロ、 _____ ホ、 _____
 ハ、 _____

- 5、最後に、あなたのプロフィールについてお知らせ下さい。

a. 性別(男・女) 出身() 都道府県/国
 b. 年齢(10代、20代、30代、40代、50代、60代以上)
 c. 職業(学生・主婦・会社員・教員・無職・その他)